


【件名】	霞川整備工事（その15）	【事務所名】	西多摩建設事務所	
【工事場所】	東京都青梅市木野下一丁目地内から 同市今寺一丁目地内まで 霞川	【受注者名】	株式会社 村尾重機	
【工期】	平成28年2月1日から平成29年6月16日まで	【主たる技術者名】	現場代理人兼監理技術者 井上 英章	

【工事概要】

- 河心延長 L=55.0m
- 築堤・護岸
 - 護岸工 498㎡
 - 管理用通路工 292㎡
- 橋梁下部 橋台工 2基 場所打杭工 4本
- 橋梁附帯
 - 舗装工 89㎡
 - 高欄・防護柵工 1式

【表彰理由】（※発注者側評価）

本工事は、護岸工事及び利用者の多い青梅市道の橋梁を架け替える工事である。受注者は霞川の特性を理解し、洪水時対策を積極的に行う等安全に十分配慮を行い無事故で工事を完了させた。監理技術者は橋梁・河川工事に精通し、橋台の型枠に透明型枠を使用するなど品質の向上に積極的であった。工事の実施については社を上げて安全管理、工程管理、品質管理を行うと共に、環境美化など地域貢献活動を行い住民の評価も高かった。竣工書類は非常に見易く、仕事に対して熱意を持って取り組んだ事は評価に値する。



施工前



施工後

【受注者の声】

◇ 苦労した点

旧道が狭く、旧橋の地耐力が不明だった為、場所打杭工に必要な全周機等の搬入ができない状況でしたので現場内に仮橋を設置しました。仮橋を設置したことにより旧道及び旧橋を利用せずに済み大型建設機械から生コンなどの資材を安全に搬出入することができました。

◇ 特に工夫した点

①霞川の水位は少量の雨でも急激に上昇するので土工事に完成時と同等の河積断面を確保することにより水害防止に努めました。②橋台の型枠にアクリル板を使用し、コンクリート打設時による気泡やひび割れ、材料分離によるジャンカなどできないようにしました。

◇ 現場で得られたやりがいや達成感

工事期間中は地元住民や管理用通路利用者の方に工事の理解を得る為に、周辺の清掃活動や挨拶などコミュニケーションを取るようにしました。
事故・苦情無く工事完了できた事など携わった全ての方々に感謝の気持ちです。

◇ 建設業の将来を担う若手技術者や学生に対し伝えたいこと

当現場を通じて感じたことは数ある施工工法の中から最適な選択をするには何度も現場に行き、周辺の状況や地元の人の話など情報を得る事がとても重要だと改めて感じました。今後も更なるレベルアップを目指し精進していく所存です。みなさんも頑張ってください。



場所打杭コンクリート打設工（A1-1）